

城端線開通 120 年記念連続講座

『城端線は何を変えたのか』

日本海側で初めて民間によって建設された城端線が、開通してから今年で 120 年。鉄道を見たこともなかったとなみ野の人々が、手を取り合って物流の大動脈を作り上げました。この開通が、地域にもたらした財産は、計り知れません。節目の年を記念して、沿線の市民団体などが中心となり、城端線と歴史と地域の未来を考える連続講座を開催することとなりました。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

今 後 開 催 の 講 座			
5	バスハイク「城端線をもっと知ろう」 城端線、旧加越線の歴史と現在を探訪します。	10月15日(日) となみ散居村ミュージアム発着(1日) 城端線・加越線沿線一円	第1～4回の講座で学んだ内容を、実際に見て回ります。新たな発見がたくさんあるはず。楽しく城端線を学びましょう。
6	シンポジウム「どこへ行くとなみ野 ～城端線は何を変えたのか～」 基調講演:吉田千秋氏(ひたちなか海浜鉄道社長)	11月12日(日) 13:30～16:00 となみ散居村ミュージアム	講座を振り返り、城端線によって、となみ野はどう変わったか、今後のとなみ野の姿をどのように描いていくか、について、連続講座の講師が意見を交わします。
城端線 120 年記念シンポジウム 基調講演:藻谷浩介氏(地域エコノミスト) 田中輝美氏(ローカルジャーナリスト) パネリスト:中川大氏(富山大副学長)ほか		12月10日(日) 13:30～17:30 じょうはな座	人口問題や地域活性化に詳しい識者の講演とパネルディスカッションで、公共交通の将来像について考えます。

終了した講座「となみ野 JP」(http://tonamino.jp/shiru/120.html)に動画、録音、資料をアップ。スマホ視聴 OK。		
1	「城端線は秘密がいっぱい!!」(7月9日、散居村ミュージアム) 講師:木本尚志氏(富山県呉西地区公共交通再生研究会 会員)	城端線の歴史には、さまざまなロマンが込められています。“知られざる秘密”を存分に紹介しました。
2	「明治人は鉄路に憧れた」(7月23日、散居村ミュージアム) 講師:草卓人氏(鉄道史研究家) 廣瀬直樹氏(氷見市立博物館主任学芸員)	明治時代、水運から鉄道への物流の大転換がなぜ、どのように起きたかを考えました。
3	「となみ野の産業革命」(8月12日、散居村ミュージアム) 講師:竹島慎二氏(富山近代史研究会 会長)	となみ野を大きく変えた城端線の開通を、世界史、日本史の視点から考え、その意義を探りました。
4	「人が動いた、地域が変わった」(9月16日、福野文化創造センターヘリオス) 講師:西野真夫氏(砺波散村地域研究所所員)、中川正人氏(城端・氷見線活性化推進協議会事務局、高岡市総合交通課地域交通係長)	鉄道の機能が「高速中距離輸送」「近距離大量輸送」に変わってきた現在、地方交通機関にどのような役割が求められるのか。城端線沿線の人口動態や将来予想を踏まえて考えました。

会場 となみ散居村ミュージアム 〒939-1363 富山県砺波市太郎丸 80 Tel:0763-34-7180
福野文化創造センター ヘリオス 〒939-1576 富山県南砺市やかた 100 Tel:0763-22-1125

●申込方法

- ※受講、シンポジウムは無料。バスハイクは参加費 1,000 円(軽食、保険料含む)を予定します。
- ※お申込みは FAX、メールで、住所、名前、受講講座番号をお送りください。(バスハイク以外は当日受付も可)

●お問い合わせ:城端線 120 年記念事業実行委員会事務局(じょうはな座内)

〒939-1865 富山県南砺市城端 1046 Tel:0763-62-5050
詳しくは、「となみ野イベントカレンダー」(<http://event.tonamino.jp/>)をご覧ください。パンフ・申込書のダウンロードもできます。

お申込み: FAX は下欄に記入のうえ、0763-62-5056 へ。メールは 120kouza@tonamino.jp へ。

名 前	住 所	電 話	携帯電話	e-mail	受講講座番号